

女性と社会のつながり支援事業【福岡県】

総事業費

8,503千円

交付金額

4,251千円

地域の実情と課題

- 長引くコロナの影響により、生活環境の変化、女性が多い非正規労働者の収入減による将来への不安、DV被害の増加や深刻化の懸念など、女性を取り巻く様々な困難さが増大し、社会とのつながりが希薄になっている。
- また、困難や不安を抱えながらも自ら支援を求めない女性に対して、様々な専門機関の支援が届きにくい状況となっている。

事業の特徴

NPO等とのネットワークを活用した子ども食堂・フードバンク等での声かけ及び相談支援を実施。

事業の効果

街頭等で約2,100人以上の女性に対して声かけを実施するなど、積極的にアウトリーチを実施。

目的・目標

様々な困難や不安を抱える女性が、NPO等民間団体によるアウトリーチ型支援により、社会とのつながりを回復し、就労支援や生活支援等の支援を受けることができる。

連携団体

つながりサポート団体等連絡会議

今後の課題

- 困難を抱える女性へ支援を届けるために、街頭等での声掛けだけでなく、子ども食堂やフードバンク等の既存の支援団体との連携を強化し、効果的なアプローチをしていくことが必要。
- 困難を抱える女性が気軽に相談できるよう、当事業についてのさらなる広報・周知。

女性と社会のつながり支援

コロナ禍において不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復することができるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

(1) アウトリーチ型相談支援

街頭声掛け、メールやSNSによる相談支援、面談、就労支援や生活支援を行う関係機関へのつなぎ

(2) 生理用品の提供

支援の対象となる女性に対して、相談支援の一環として生理用品を提供

※相談支援時に使用した周知カード



(表)



(裏)